

内閣府 青少年シンポジウム

いま、子供・若者を支えるために 何が求められているか

～子ども・若者育成支援推進法の施行から5年～

平成27年 3月 7日(土) 13:00～17:20 (12:00 受付開始) ※ 3部構成

「子ども・若者育成支援推進法」が施行されて約5年が経ちました。これまで「子ども・若者ビジョン」などに基づいた施策が進められてきましたが、子供・若者をとりまく社会環境が絶えず変化するなか、次代を担う子供・若者の健やかな成長を社会全体で支えていく必要がますます高まっています。このシンポジウムでは、子供・若者の問題に精通する有識者の方、第一線で支援に携わる方とともに、いま、子供・若者を支えるために求められているものについて考えていきます。

場所 国立オリンピック記念青少年総合センター・センター棟4階417室 (詳細は裏面参照)

参加対象 子供・若者の育成支援にご関心のある皆様 (行政関係者、民間支援団体職員、教育関係者、学生等)

申込方法 裏面参照 (予約制/定員250名程度/参加無料) ※ 事前申し込み制・先着順

第1部：基調講演「子供・若者の現状と‘子ども・若者育成支援推進法’」13:00～13:50



放送大学副学長 宮本みち子氏 ※ 第2部パネルディスカッション・ファシリテーター

千葉大学教育学部教授を経て現職、社会学博士。労働政策審議会委員、社会保障審議会委員、子ども・若者育成支援推進点検・評価会議座長、子どもの貧困対策に関する検討会座長などを歴任。フリーターや若年無業者問題と関わり、無縁化する社会の問題にも力点を置いている。

第2部：パネルディスカッション「子供・若者を支えるために求められること」14:00～15:30



専門は、小児精神保健、子ども虐待、子どものトラウマなど。NPO法人埼玉子どもを虐待から守る会会長、日本小児科学会理事等を歴任。

奥山 眞紀子氏
(国立成育医療研究センター
副院長・こころの診療部長)



専門は教育社会学、特に青少年問題の研究。社会的活動として、2014年度より東京都青少年問題協議会委員(専門部会長)および生涯学習審議会委員等を歴任。

古賀 正義氏
(中央大学文学部 教授)



総合病院小児科・心療内科臨床心理士、東京都スクールカウンセラー等に勤務。包括的スクールカウンセリングの理論をもとにコミュニティを視野に入れた児童生徒への支援を実践。

植山 起佐子氏
(臨床心理士コラボオフィス目黒)



大学教授ら有志を募り「NPOスチューデント・サポート・フェイス」を設立。ニート等の状態にある子ども・若者へのアウトリーチ(訪問支援)等に尽力。社会保障審議会特別部会等を歴任。

谷口 仁史氏
(特定非営利活動法人 NPO
スチューデント・サポート・フェイス)

第3部：リレートーク「支えられ、支える社会へ～若手支援者の‘声’を聴く～」15:40～17:15



森山 誉恵氏
(NPO法人3keys 代表理事)



薬師 実芳氏
(NPO法人ReBit 代表理事)



渡井 隆行氏
(NPO法人日向ぼっこ 理事長)



門馬 優氏
(NPO法人TEDIC 代表理事)

&



コメンテーター：高塚 雄介氏
(明星大学 教授)